

2011年9月

報道関係各位

佐久市立近代美術館

特別企画展 《桜井寛展—モチーフと共に》
プレス内覧会 開催のお知らせ

拝啓 秋涼の候 各位におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当館の事業にご協力賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、佐久市立近代美術館では、特別企画展としまして、《桜井寛展—モチーフと共に》を開催いたします。桜井寛は、昭和6年(1931)臼田町(現長野県佐久市)に生まれ、独立美術協会の会員として独立展を中心に活動を続けている洋画家です。《モチーフと共に》と副題に示したとおり、フライパンとめだま焼き・旅行かばん・ベッドなどの身近なモチーフが繰返し作品に登場します。かたくなに油彩による表現を続けている不器用な印象のある作家です。本展では、作家が独立美術協会へ出品を始めた昭和30年代の作品、独立美術協会に出品していた若手作家の自主的な研究発表の場としていた十果会出品作、近作や挿絵を含め展示します。作家の80歳を記念した大回顧展です。

平成23年10月8日(土)からの一般公開、10月7日(金)午後4時からの内覧会に先立ち、10月7日(金)午後2時から午後3時までプレス内覧会を開催いたします。ぜひ取材いただき、本展や会期中のイベント情報など、記事、告知などとして御社の媒体で取り上げていただきたく、ご案内申し上げます。何卒ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

《プレス内覧会》案内

期日 平成23年10月7日(金)
場所 佐久市立近代美術館 油井一二記念館
受付 午後1時30分～午後2時30分
展示室内覧
午後2時00分～午後3時00分
担当者がみなさまの質問にお答えします。
展示室内で撮影ができます。

□ 「桜井寛展—モチーフと共に」案内

- 会 期：平成23年10月8日（土）～12月11日（日）
- 開館時間：午前9時30分～午後5時
- 観覧料：一 般 600円（500）
 高校・大学生 400円（300）
 小・中学生 250円（200）（ ）内は20名以上の団体料金
- 休館日：11月7日（月）・14日（月）・21日（月）・28日（月）
 12月5日（月）
- 主 催：佐久市・佐久市教育委員会
- 共 催：信濃毎日新聞社
- 協 賛：元麻布ギャラリー・佐久市立近代美術館友の会
- 助 成：独立行政法人日本芸術文化振興会（芸術文化振興基金助成事業）
- 後 援：SBC信越放送・NBS長野放送・TSBテレビ信州・abn長野朝日放送・
 佐久ケーブルテレビ株式会社・fmさくだいら・佐久市民新聞・信州美術会・
 佐久美術会・美術年鑑社

■ 会期中のイベント

- 内覧会 10月7日（金）午後4時30分から午後7時まで
 （開会式：午後4時）
- 協賛小企画展「桜井寛作品展」（無料）
 10月8日（土）—10月23日（日）
 午前11時—午後7時（無休）
 場所・主催 元麻布ギャラリー・佐久平（東横イン佐久平駅浅間口1F）
- 絵を見て語る会（アーティスト・トーク）
 10月23日（日）午後1時30分から午後3時30分まで
 講師：桜井寛
 主催：佐久市立近代美術館友の会
- ビデオ「美の世界—私をとらえるモチーフ/桜井寛」（日本テレビ制作）上映会
 11月25日（金）—11月30日（水）（ビデオ鑑賞のみは無料）
- 桜井寛小品展—佐久で集めた作品を中心に（無料）
 12月2日（金）—12月11日（日）
 場所：佐久市立近代美術館視聴覚室
- 学芸員による展覧会ガイドツアー（参加無料・観覧券必要）
 12月3日（土）・4日（日）・10日（土）・11日（日）
 午後2時—（40分程度）

桜井寛(さくらいかん)

昭和6年—(1931-) 洋画家・独立美術協会会員・元武蔵野美術大学教授・佐久市出身

昭和6年(1931)長野県南佐久郡臼田町(現佐久市)に生まれる。長野県野沢北高等学校を卒業、昭和30年(1955)東京教育大学芸術学科を卒業。武蔵野美術大学、女子美術大学などで講師をしながら制作を続け、独立美術協会を中心に作品を発表。昭和38・41年(1963・66)に独立賞を受賞し翌年会員推挙。

ベットやトランク、フライパンにめだま焼きなど静物を多く描いています。根底はフォービズムですが色彩は暗く深く、単純な構成で、物との対話を通して自らの内面世界の表現を模索しています。沈み込みそうな重いリアリティーのある表現。平面作品でしかも限られたモチーフにかたくなにこだわり、自分の作品を掘り下げてきました。市立近代美術館には初期の秀作《走る牛》と近作の秀作《背を向ける裸婦》が作家より寄贈されました。

小説家井出孫六は同級生で、昭和57年(1982)に朝日ジャーナルの連載小説「杏花爛漫」の挿絵を担当しました。

個展／平成6年(1994)「桜井寛展」(青梅市立美術館)、平成7年(1995)「桜井寛の世界展」(池田20世紀美術館)、平成13年(2001)「武蔵野美術大学教授退任記念桜井寛展」(武蔵野美術大学美術資料図書館)など。

パブリックコレクション／栃木県立美術館・宮崎県立美術館・長野県信濃美術館・青梅市立美術館・三鷹市美術ギャラリー・中土佐町立美術館・茅野市美術館・池田20世紀美術館・武蔵野美術大学 美術館 図書館・筑波大学・佐久市文化事業団・佐久市立近代美術館など。

桜井寛年譜

- 1931年 長野県に生まれる
- 1951年 独立展初出品
- 1955年 東京教育大学芸術学科卒業
- 1963年 第31回独立展独立賞受賞('66年第34回展にも受賞)
- 1967年 独立美術協会会員推薦
- 1971年～74年 安井賞展出品('80年にも出品)
- 1974年 現代日本美術選抜展・栃木県立美術館
- 1975年～76年 渡欧(スペインを中心として)
- 1979年 独立展の会員11名と十果会を結成する・高島屋
- 1982年～83年 朝日ジャーナルに井出孫六「杏花爛漫」の挿絵連載
- 1994年 特別展桜井寛展・青梅市立美術館
- 1995年 桜井寛の世界展・池田20世紀美術館
- 2001年 武蔵野美術大学教授退任展(武蔵野美術大学資料図書館)
桜井寛展・ギャラリー82(八十二文化財団、長野市)
- 2002年 武蔵野美術大学教授退任

展示構成

桜井の画業を5つのセクションに分け、独立展などの出品作を中心に、油彩画59点、素描27点で構成

I 初期から青の時代

初期の独立入選作から、「牛シリーズ」・「青の時代」まで18点で桜井の若き時代を紹介

- 1 《牛骨のある静物》 1951 カンヴァス・油彩 72.7cm×60.6cm 第19回独立展
- 9 《走る牛》 1963 カンヴァス・油彩 130.3cm×162.1cm 第31回独立展
- 18 《鏡の前の静物》 1973 カンヴァス・油彩 130.3cm×162.1cm 第41回独立展

II ベッドからめだま焼き

同じモチーフに繰返し取組む桜井の作品を紹介。代表的なモチーフとなった「フライパンとめだま焼き」や、スペインを訪れて描くこととなった「廃墟シリーズ」などを含む13点。

- 19 《ベッド・静物》 1972 カンヴァス・油彩 130.3cm×193.9cm 第40回独立展
- 22 《ハティバの廃墟》 1979 カンヴァス・油彩 90.9cm×116.7cm 第1回十果会
- 29 《二つのフライパンのあるテーブル》 1999 カンヴァス・油彩 91cm×116.7cm 第21回十果会

III モチーフとしての自分

モチーフと同じ姿勢で「わたし」を見つめる桜井の自画像は、ベッド・テーブル・椅子・めだま焼きなどの桜井のその他のモチーフと同じ画面上で絵画の構成要素となり様々な表情を見せる。自画像10点で構成。

- 32 《立てる自画像》 1985 カンヴァス・油彩 145.5cm×97cm 第7回十果会
- 41 《ベッドに腰掛ける私》 2009 カンヴァス・油彩 181.8cm×227.3cm 第77回独立展

IV 人物—裸婦

「最近“いきもの”の中でますます人物を描こうとする気持ちが強くなっている。チャーミングで、可愛くて、醜悪で、貧婪で、殺戮的で、狡猾で好戦的な人間を描いてみたい。」—桜井に気にいられたモチーフは、作家に大いなる想像力を与える。人物も主要なモチーフである。人物・裸婦など今年の独立展出品作も含め18点で構成。

- 49 《ニューヨークの窓》 1988 カンヴァス・油彩 193.9cm×259.1cm 第56回独立展
- 59 《シュミーズの女》 2010 カンヴァス・油彩 181.8cm×227.3cm 第78回独立展

V 素描

スペイン・ニューヨークのスケッチ、人物デッサンなど27点で構成。

佐久市立近代美術館 油井一二記念館

昭和58年(1983)5月、長野県駒場公園の一角に開館しました。

当館の収蔵美術品の母体は「油井一二コレクション」です。佐久市出身の故・油井一二氏(株)美術年鑑社初代社長)が50年余にわたり蒐集した近・現代の日本美術品のコレクションで、昭和52年(1977)、故郷である佐久市に寄贈してくださいました。これを契機に美術館建設の機運が高まりました。

開館後も多くの作家・所蔵家や佐久にゆかりの作家により美術品が寄贈され、現在では、日本画・油彩画・彫刻・工芸・書の日本の美術品の各ジャンルにわたる2,700点余を収蔵しています。

当館は、

- 美術品や美術に関する資料の収集・保管・作成
 - 美術に関する調査研究
 - 収集・保管している美術品や、作成した美術資料、調査研究を基に解説などを交え、展覧会や特別企画展の企画・開催
 - 美術に関する講演会・講習会や美術作品公募展の開催
- を主な事業としています。加えて、公募によって平成22年4月から館長に就任した並木功(日本画家・佐久市出身)の方針により、みなさんに親しまれる美術館とするため、市民が参加できる美術講習会などを企画・開催しています。

施設の概要

開館年月日	昭和58年5月26日
敷地面積	2,777.96平方メートル
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地上3階
建築面積	1,569.46平方メートル
建築延面積	3,704.22平方メートル

開館時間

9時30分～17時

休館日

- 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
- 年末年始12月29日～1月3日
- 展示替え期間

常設展示

- 平山郁夫作品
- 中国陶磁器(明—清時代42点・吉沢コレクション)
- 館収蔵名品選
- 野外彫刻「さく」田辺光彰(たなべみつあき・1944—)

■ 問い合わせ ■

佐久市立近代美術館
油井一二記念館

SAKU Municipal
Museum
of Modern Art

SAKU Municipal Museum of Modern Art

佐久市立近代美術館 油井一二記念館

〒385-0011

長野県佐久市猿久保35-5(駒場公園内)

TEL:0267-67-1055/FAX:0267-67-1068

E-MAIL:s-kinbi@city.saku.nagano.jp

佐久市立近代美術館 油井一二記念館 〒385-0011 佐久市猿久保35-5(駒場公園内)

TEL:0267-67-1055/FAX:0267-67-1068/E-MAIL:s-kinbi@city.saku.nagano.jp